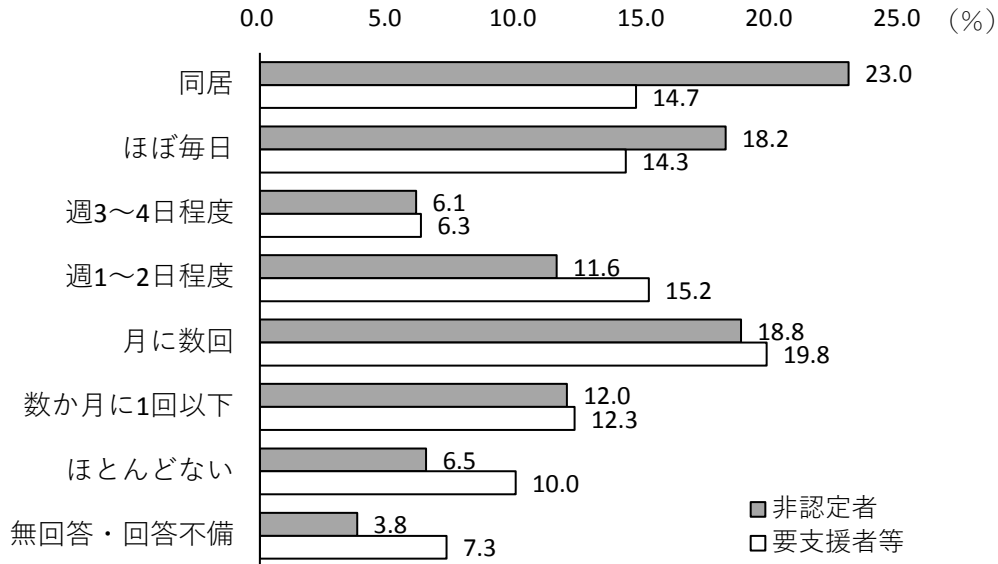


3 地域における支え合いの状況

(1) 家族・親族との交流の頻度

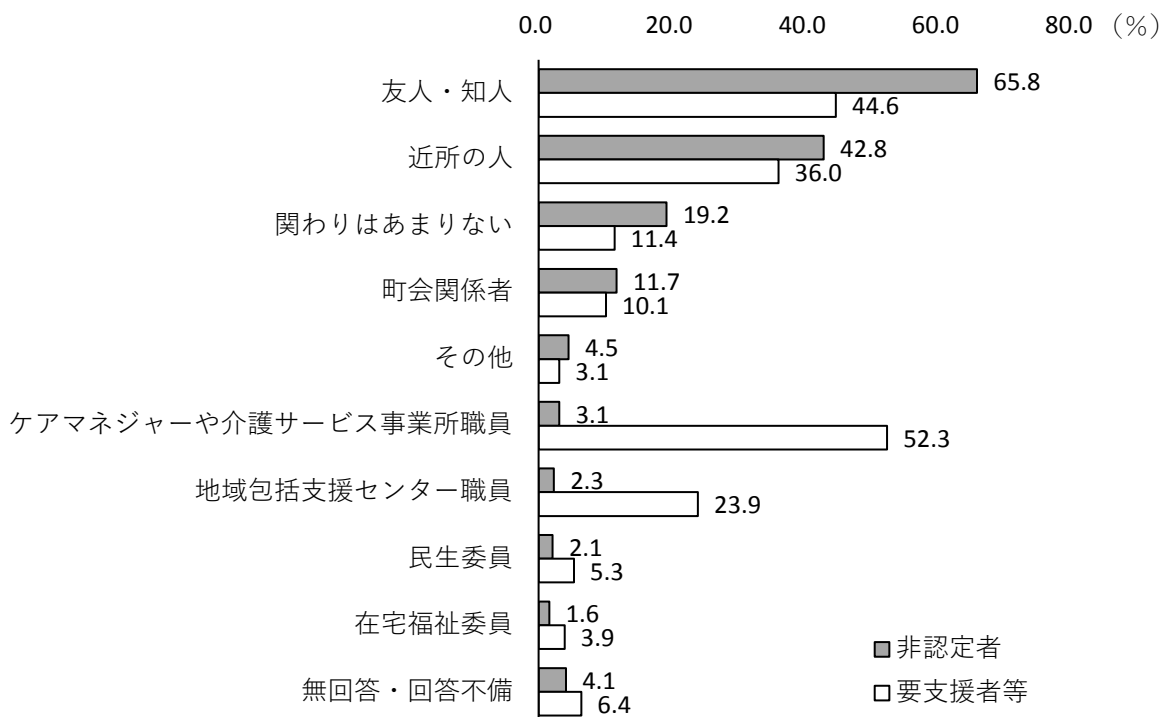
非認定者，要支援者等ともに，約2割が数か月に1回以下の交流です。



(2) 家族・親戚以外にどのような人との関わりがあるか

非認定者は「友人・知人」が最も高く，次いで「近所の人」が高くなっています。

要支援者等は「ケアマネジャーや介護サービス事業所職員」が最も高く，次いで「友人・知人」が高くなっています。

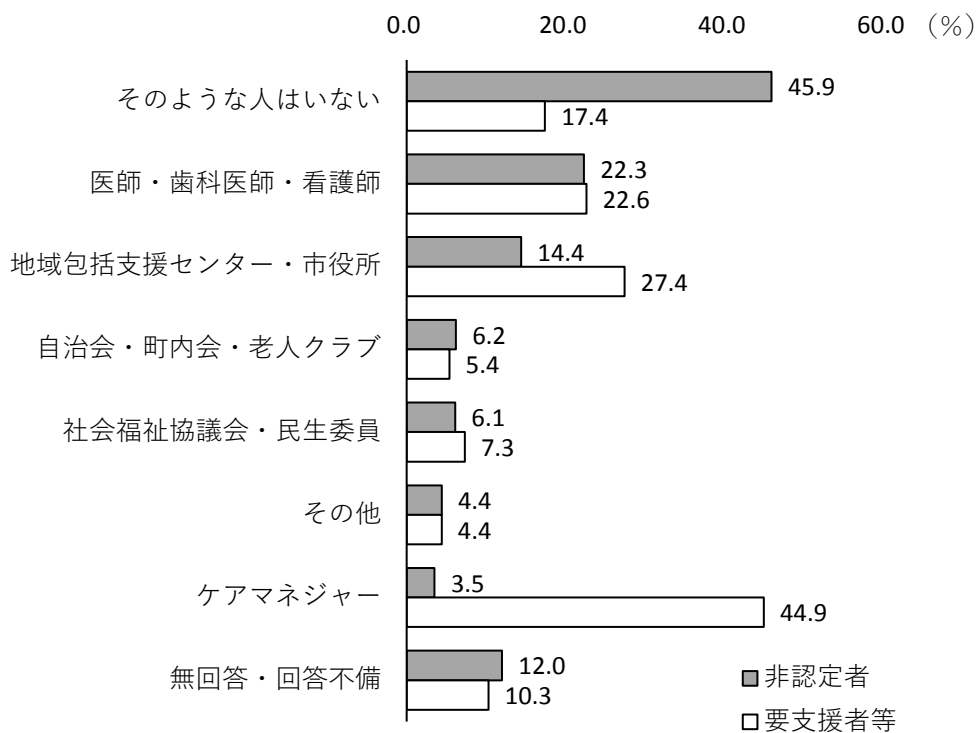


※出典：令和元年度 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(3) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手

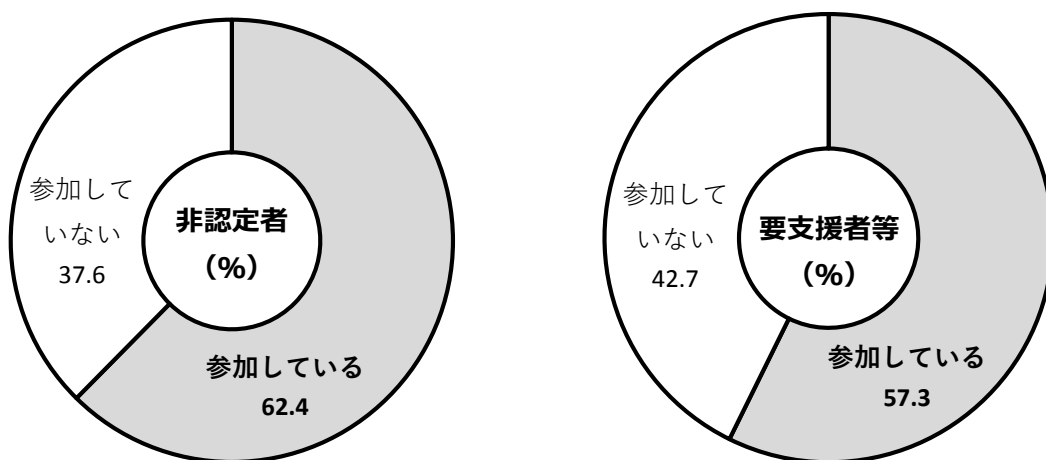
非認定者は「そのような人はいない」が最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が高くなっています。

要支援者等は「ケアマネジャー」が最も高く、次いで「地域包括支援センター・市役所」が高くなっています



(4) ボランティアや趣味関係など何らかの会・グループに参加しているか

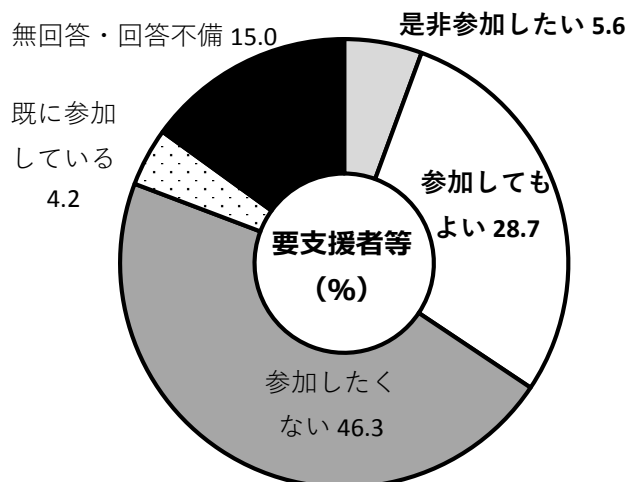
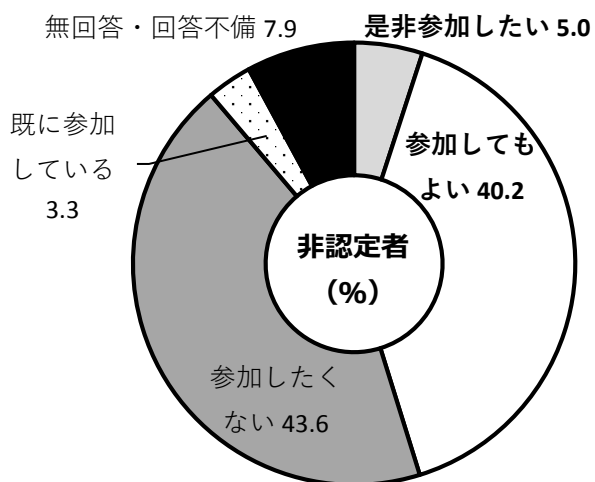
非認定者、要支援者等の約6割が、会・グループに参加しています。



※出典：令和元年度 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

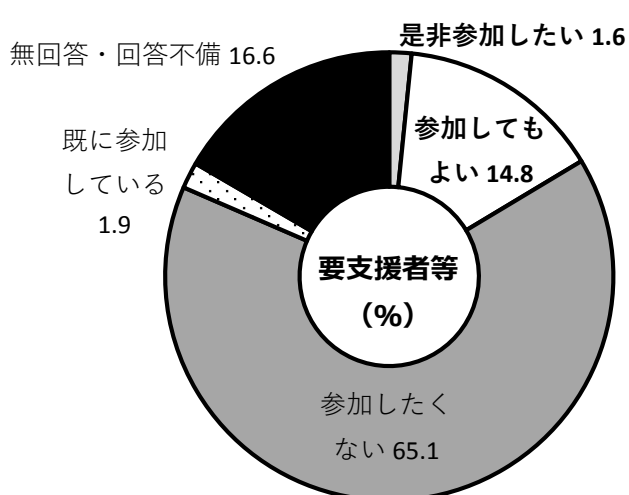
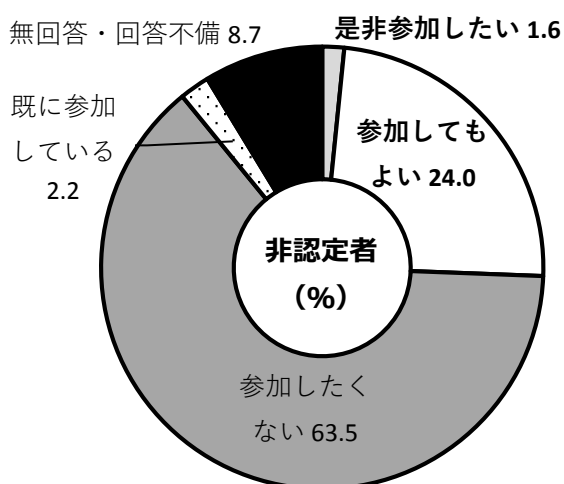
(5) 健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って地域づくりを進めるとしたら、その活動に参加者として参加してみたいと思うか。

非認定者の約5割、要支援者等の約3割が、参加に前向きな回答をしています。



(6) 健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って地域づくりを進めるとしたら、その活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思うか。

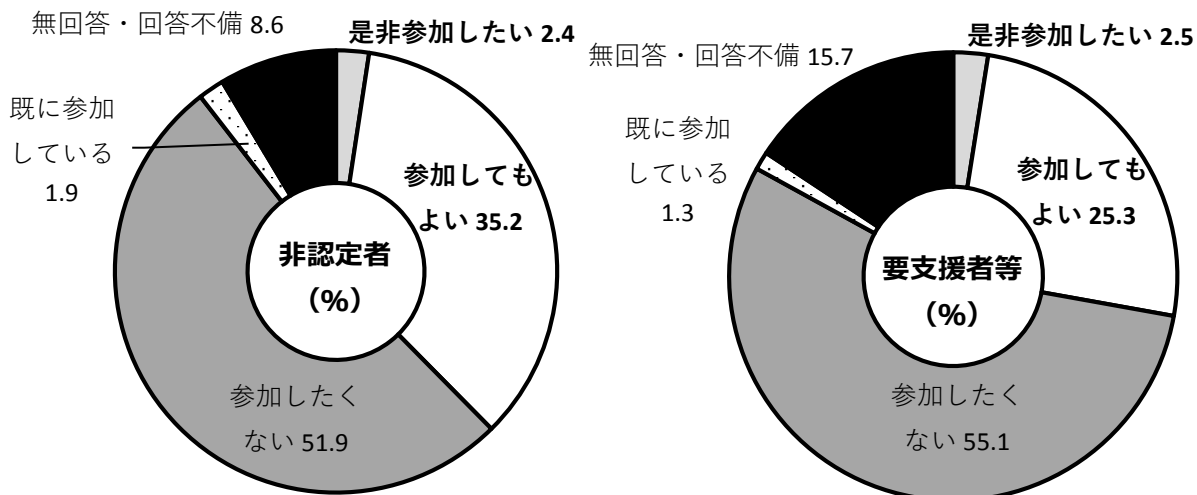
非認定者の約3割、要支援者等の約2割が、参加に前向きな回答をしています。



※出典：令和元年度 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

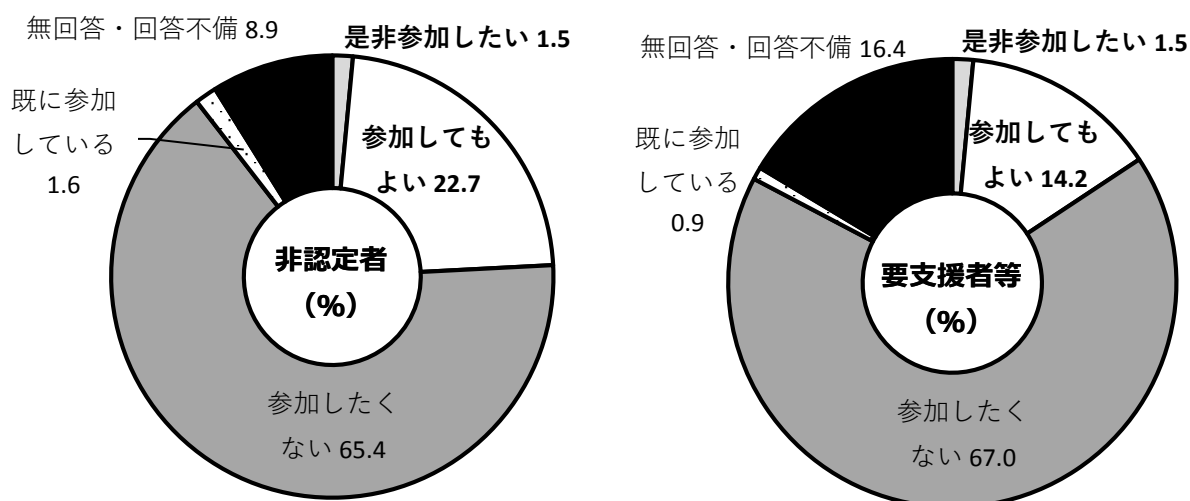
(7) 自分と違う世代（子どもや若者）との交流ができる活動があったら、その活動に参加者として参加してみたいと思うか。

非認定者の約4割、要支援者等の約3割が、参加に前向きな回答をしています。



(8) 自分と違う世代（子どもや若者）との交流ができる活動があったら、その活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思うか。

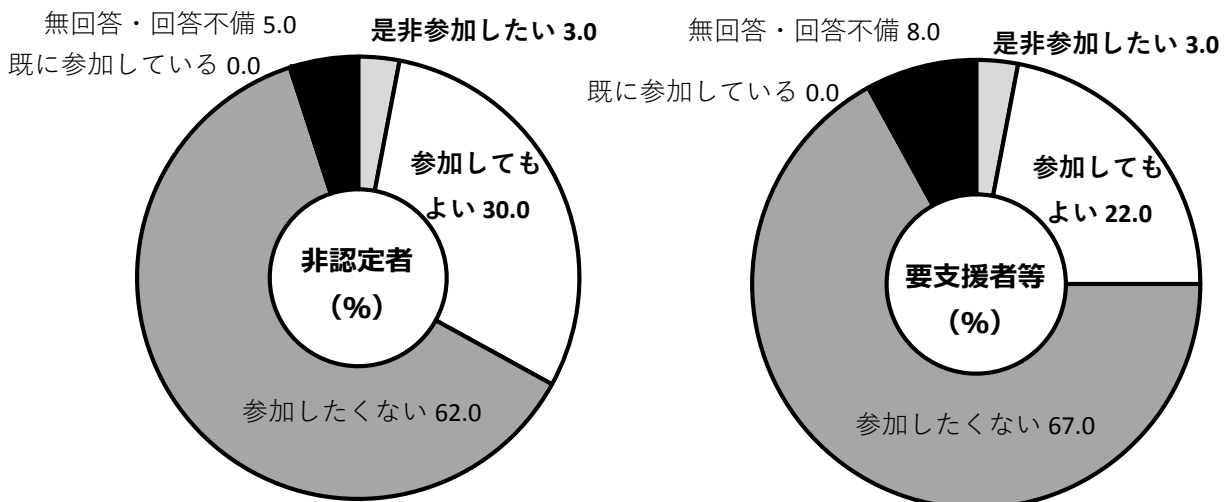
非認定者、要支援者等の約2割が、参加に前向きな回答をしています。



※出典：令和元年度 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

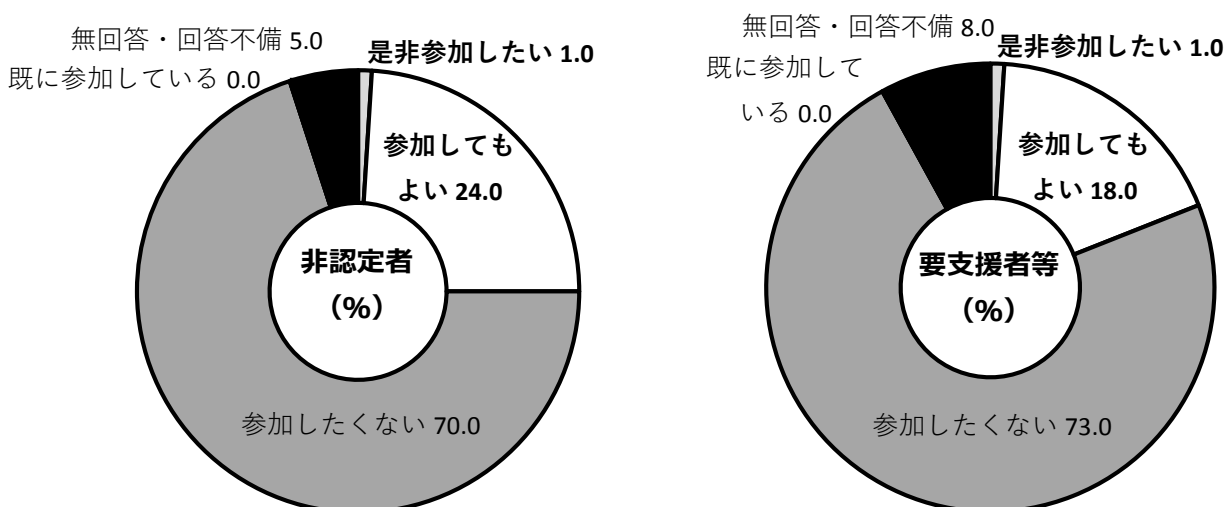
(9) 「(4) で何らかの会・グループに参加していない人」の、「(5) 健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って地域づくりを進めるとしたら、その活動に参加者として参加してみたいと思うか。」の回答

会・グループに参加していない人の中でも、非認定者、要支援者等ともに約3割は地域づくり活動の参加に前向きです。



(10) 「(4) で何らかの会・グループに参加していない人」の、「(7) 自分と違う世代（子どもや若者）との交流ができる活動があったら、その活動に参加者として参加してみたいと思うか。」の回答

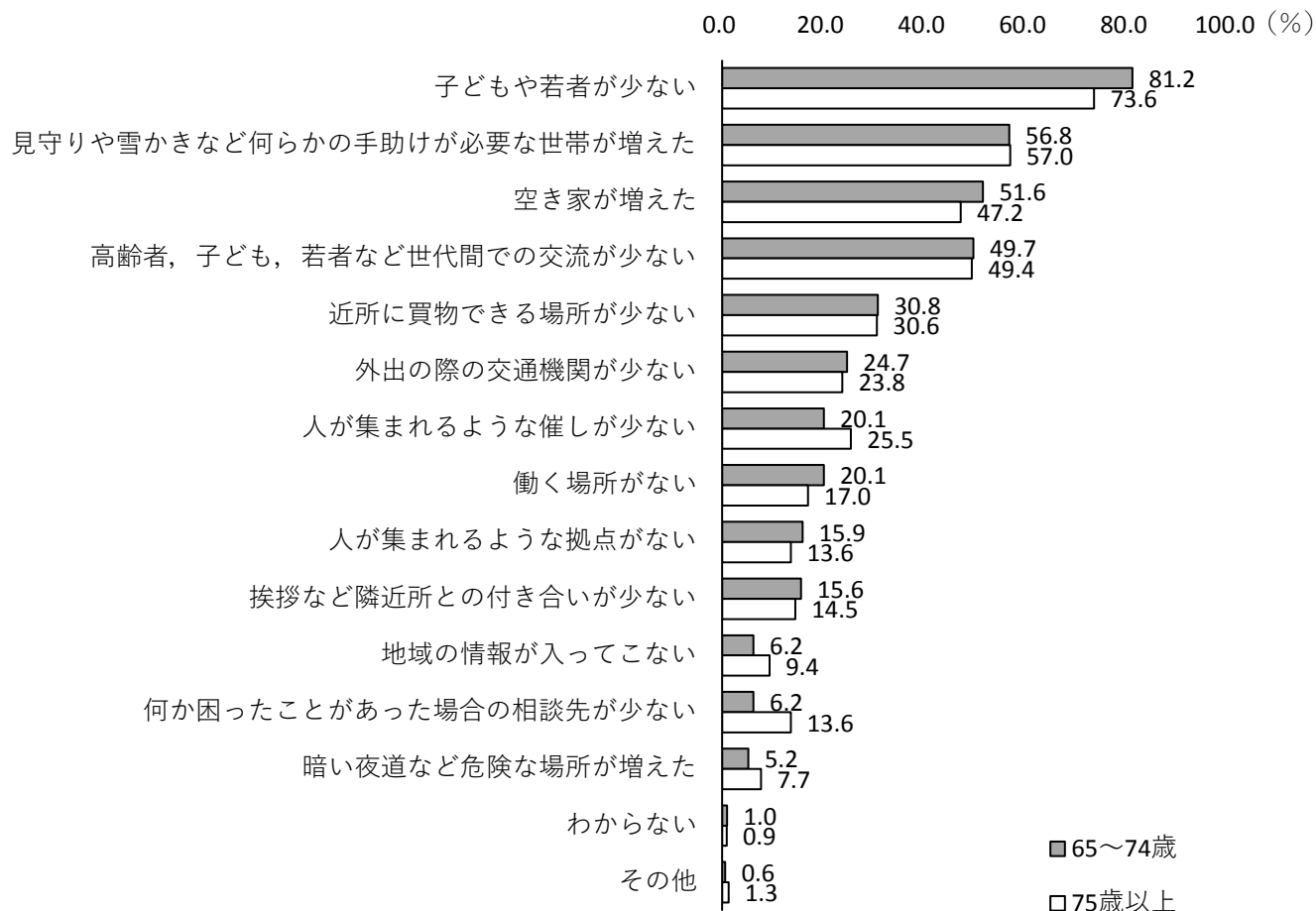
会・グループに参加していない人の中でも、非認定者の約3割、要支援者等の約2割が、多世代交流活動の参加に前向きです。



※出典：令和元年度 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(11) 住んでいる地域では、どのような生活課題があると思うか

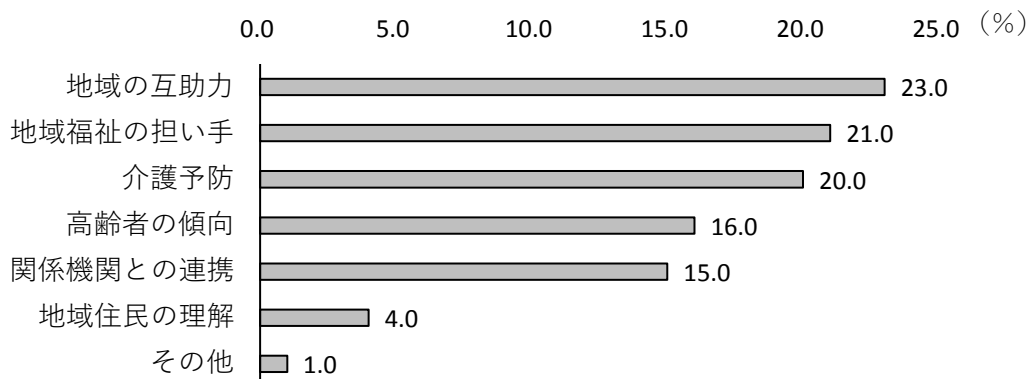
65歳から74歳までの高齢者，75歳以上の高齢者ともに「子どもや若者が少ない」が最も高く，次いで「見守りや雪かきなど何らかの手助けが必要な世帯が増えた」が高くなっています。



※出典：平成30年度 地域福祉に関する意識調査

(12) 地域ケア会議で抽出された地域課題

「地域の互助力」が最も高く，次いで「地域福祉の担い手」が高くなっています。



※出典：令和元年度 函館市地域包括支援センター活動実績